



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東 札

上場会社名 ナラサキ産業株式会社
コード番号 8085 URL <http://www.narasaki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 克久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 毎原 吉紀

TEL 03-6732-7355

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	46,347	△4.2	463	△44.1	458	△43.0	675	32.8
26年3月期第2四半期	48,372	7.2	829	11.3	804	13.4	508	27.9

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 767百万円 (16.8%) 26年3月期第2四半期 657百万円 (74.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	25.56	—
26年3月期第2四半期	19.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	40,854	9,655	22.9
26年3月期	44,196	8,866	19.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 9,338百万円 26年3月期 8,604百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00	7.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	△6.1	2,100	△15.9	2,000	△18.4	1,630	8.4	61.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	26,628,000 株	26年3月期	26,628,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	190,142 株	26年3月期	232,274 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	26,418,511 株	26年3月期2Q	26,337,609 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成26年8月5日に公表しました業績予想に変更はございません。
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税前の駆け込み需要の反動や物価上昇等の影響により個人消費や住宅投資に弱めの動きが見られる一方、企業収益の改善を背景として設備投資が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中、当社グループはグループ総合営業力を強化し、収益拡大と財務基盤強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は463億47百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は4億63百万円（前年同期比44.1%減）、経常利益は4億58百万円（前年同期比43.0%減）となりましたが、特別損益として連結子会社における船舶事故に伴う受取保険金と損害賠償金を計上したことにより、四半期純利益は6億75百万円（前年同期比32.8%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

(電機関連事業)

電機関連事業では、生産設備関連の電気・電子機器の販売や建築設備物件の引渡しが順調に推移したことにより、前年同期比で増収増益となりました。

以上の結果、売上高は100億88百万円（前年同期比9.9%増）、セグメント利益は4億47百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

(機械関連事業)

機械関連事業では、前期に大型物件があった反動や補助事業の減少等により苦戦を強いられ、前年同期比で大幅な減収およびセグメント損益の悪化となりました。

以上の結果、売上高は20億29百万円（前年同期比43.1%減）、セグメント損失2億96百万円（前年同期はセグメント損失8百万円）となりました。

(建材・燃料関連事業)

建材・燃料関連事業では、工事発注の遅れにより建材の納入が下期にずれ込んだことや原油価格の変動が激しくガソリン等の販売面で苦戦し、前年同期比ではセグメント利益が大きく減少しました。

以上の結果、売上高は232億5百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は63百万円（前年同期比69.8%減）となりました。

(海運関連事業)

連結子会社のナラサキスタックス(株)では、鋼材・木材などの貨物の動きが引き続き順調であり、業績は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は87億46百万円（前年同期比2.1%減）、セグメント利益は2億19百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は408億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億42百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の減少37億44百万円であります。

負債は311億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ41億31百万円の減少となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金の減少26億1百万円、借入金の減少17億16百万円であります。

純資産は96億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億88百万円の増加となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.4ポイント増加し、22.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は61億81百万円（前年同期は51億87百万円）となり、前連結会計年度末に比べて5億29百万円の減少となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、17億21百万円の収入（前年同期は7億68百万円の収入）となりました。主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益12億円、売上債権の減少額37億44百万円、主な支出項目は、仕入債務の減少額26億1百万円、法人税等支払額7億38百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、2億66百万円の支出（前年同期は2億70百万円の支出）となりました。主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出2億25百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、19億85百万円の支出（前年同期は10億34百万円の支出）となりました。主な支出項目は、借入金の純減少額17億16百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成26年8月5日に公表しました通期の連結業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の投資その他の資産（その他）が1億81百万円増加し、退職給付に係る負債が1億27百万円減少し、利益剰余金が1億99百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱いの適用)

当社は、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成25年12月25日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。なお、当実務対応報告適用初年度の期首より前に締結された信託契約に係る会計処理につきましては従来採用していた方法を継続するため、当実務対応報告の適用による四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,734	6,216
受取手形及び売掛金	23,022	19,278
商品及び製品	514	728
原材料及び貯蔵品	43	33
その他	1,320	1,900
貸倒引当金	△25	△31
流動資産合計	31,610	28,125
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,744	5,744
その他(純額)	2,692	2,691
有形固定資産合計	8,436	8,435
無形固定資産		
	67	90
投資その他の資産		
その他	4,132	4,245
貸倒引当金	△49	△42
投資その他の資産合計	4,082	4,202
固定資産合計	12,586	12,729
資産合計	44,196	40,854

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,808	20,206
短期借入金	2,300	1,800
1年内返済予定の長期借入金	2,142	1,822
未払法人税等	742	467
賞与引当金	352	317
その他	1,438	2,100
流動負債合計	29,783	26,713
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	2,838	1,940
役員退職慰労引当金	231	92
特別修繕引当金	27	37
退職給付に係る負債	1,019	932
その他	1,228	1,282
固定負債合計	5,546	4,485
負債合計	35,330	31,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354	2,354
資本剰余金	1,308	1,316
利益剰余金	4,752	5,441
自己株式	△27	△23
株主資本合計	8,388	9,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	294	303
繰延ヘッジ損益	0	3
退職給付に係る調整累計額	△79	△57
その他の包括利益累計額合計	215	248
少数株主持分	262	317
純資産合計	8,866	9,655
負債純資産合計	44,196	40,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	48,372	46,347
売上原価	44,130	42,377
売上総利益	4,241	3,970
販売費及び一般管理費	3,411	3,506
営業利益	829	463
営業外収益		
受取利息	7	8
受取配当金	16	19
受取賃貸料	34	34
持分法による投資利益	11	4
その他	12	16
営業外収益合計	82	83
営業外費用		
支払利息	71	52
その他	36	35
営業外費用合計	107	88
経常利益	804	458
特別利益		
負ののれん発生益	4	—
投資有価証券売却益	—	3
受取保険金	—	782
特別利益合計	4	785
特別損失		
固定資産処分損	1	—
損害賠償金	—	43
特別損失合計	1	43
税金等調整前四半期純利益	806	1,200
法人税、住民税及び事業税	317	471
法人税等調整額	△33	△4
法人税等合計	283	467
少数株主損益調整前四半期純利益	523	733
少数株主利益	14	58
四半期純利益	508	675

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	523	733
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	134	9
繰延ヘッジ損益	△0	2
退職給付に係る調整額	—	21
その他の包括利益合計	133	34
四半期包括利益	657	767
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	640	708
少数株主に係る四半期包括利益	16	59

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	806	1,200
減価償却費	236	228
長期前払費用償却額	4	4
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20	△35
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	40	—
退職給付に係る資産負債の増減額 (△は減少)	—	67
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△8	△130
受取利息及び受取配当金	△24	△28
支払利息	71	52
持分法による投資損益 (△は益)	△11	△4
固定資産処分損益 (△は益)	1	—
受取保険金	—	△782
売上債権の増減額 (△は増加)	△19	3,744
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△85	△202
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2	△2,601
その他	237	67
小計	1,222	1,580
利息及び配当金の受取額	28	32
利息の支払額	△73	△53
保険金の受取額	—	900
法人税等の支払額	△408	△738
営業活動によるキャッシュ・フロー	768	1,721
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114	△225
有形固定資産の売却による収入	20	25
投資有価証券の取得による支出	△144	△2
投資有価証券の売却による収入	—	5
貸付けによる支出	△3	△5
貸付金の回収による収入	5	5
その他	△32	△69
投資活動によるキャッシュ・フロー	△270	△266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	△500
長期借入れによる収入	600	—
長期借入金の返済による支出	△1,218	△1,216
自己株式の売却による収入	10	11
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△129	△182
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△92	△93
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,034	△1,985
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△536	△529
現金及び現金同等物の期首残高	5,724	6,710
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,187	6,181

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業	海運 関連事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	9,178	3,563	24,633	8,936	2,060	48,372	—	48,372
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	346	6	99	452	△452	—
計	9,178	3,563	24,979	8,942	2,160	48,824	△452	48,372
セグメント利益又は セグメント損失(△)	392	△8	210	216	106	918	△88	829

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設機械関連事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△84百万円、セグメント間取引消去額△4百万円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	電機 関連事業	機械 関連事業	建材・燃料 関連事業 (注)4	海運 関連事業	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
売上高								
外部顧客への売上高	10,088	2,029	23,205	8,746	2,277	46,347	—	46,347
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	304	3	—	307	△307	—
計	10,088	2,029	23,509	8,749	2,277	46,655	△307	46,347
セグメント利益又は セグメント損失(△)	447	△296	63	219	115	549	△86	463

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設機械関連事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、各セグメントに配分していない全社費用△92百万円、セグメント間取引消去額6百万円が含まれております。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 第1四半期連結会計期間より、従来の「資材・燃料関連事業」から「建材・燃料関連事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。